

## 重電機器受注生産品 2025年度 第IV四半期 及び 2025年度 受注実績

JEMAでは、わが国の重電産業の景況を、需要者(業種)別の受注動向を通して把握して頂くことを目的に、JEMA会員独自で実施している重電機器自主統計を公表しています。

本ニュースリリースでは、「2025年度 第IV四半期(1~3月)」及び「2025年度」における重電機器受注生産品の受注実績を公表します。

### 2025年度 第IV四半期(1~3月)の概要

重電機器受注生産品の2025年度 第IV四半期(1~3月)の受注額は、6,951億円、前年同期比105.3%と6四半期連続のプラスとなった。2011年度以降で過去最高の受注額となった。(※以下、前年同期比は「同」と略記)

#### 【需要者別動向】

- ◆内需は5,518億円、同109.2%と6四半期連続のプラスとなった。
  - 製造業は1,037億円、同109.1%と3四半期連続のプラスとなった。主要需要先のはん用・生産用・業務用機械、自動車はマイナスとなったが、鉄鋼業がプラスとなった。
  - 非製造業は3,603億円、同108.4%と5四半期連続のプラスとなった。主要需要先の電力業は5四半期ぶりのマイナスとなったが、運輸業・郵便業・通信業がプラスとなった。
  - 官公需は815億円、同111.1%と前四半期のマイナスから転じてプラスとなった。
- ◆外需は1,433億円、同92.7%と3四半期ぶりのマイナスとなった。

#### 【製品別動向】

- 発電機:電力業、外需がプラスとなり、4四半期連続のプラスとなった。
- 交流電動機:運輸業・郵便業・通信業がマイナスとなり、4四半期連続のマイナスとなった。
- 電力変換装置:はん用・生産用・業務用機械がマイナスとなり、6四半期ぶりのマイナスとなった。
- 変圧器:鉄鋼業、運輸業・郵便業・通信業がプラスとなり、前四半期のマイナスから転じてプラスとなった。
- 遮断器:電力業がマイナスとなり、5四半期ぶりのマイナスとなった。
- 配電装置:鉄鋼業、電力業がプラスとなり、4四半期連続のプラスとなった。
- 制御装置:電力業、運輸・郵便・通信がプラスとなり、5四半期連続のプラスとなった。

### 2025年度の概要

重電機器受注生産品の2025年度の受注額は、2兆5,332億円、前年度比116.8%と5年連続のプラスとなった。2011年度以降で過去最高の受注額となった。(※以下、前年度比は「同」と略記)

- ◆内需は2兆544億円、同121.9%と5年連続のプラスとなった。
  - 製造業は4,369億円、同107.0%と2年連続のプラスとなった。主要需要先のはん用・生産用・業務用機械、自動車はマイナスとなったが、鉄鋼業がプラスとなった。
  - 非製造業は1兆3,319億円、同132.5%と5年連続のプラスとなった。主要需要先のうち電力業は6年連続のプラスとなった。
  - 官公需は2,596億円、同100.7%と2年連続のプラスとなった。
- ◆外需は4,788億円、同99.0%と前年度のプラスから転じてマイナスとなった。

#### 重電機器受注生産品受注実績統計の凡例

##### ■対象(重電機器受注生産品)

ユーザより注文を受け、個別の仕様で製造する製品群である受注生産品を調査対象としております。

- ・需要者(業種)は主に電力業や鉄鋼業、はん用・生産用・業務用機械、電気・情報通信機械、自動車などの主要製造業及び官公需等です。
- ・重電機器の主要製品は、回転機(発電機、交流電動機)、静止・開閉器(電力変換装置、変圧器、遮断器、配電装置、制御装置)等です。

##### ■公表の内容

重電機器受注生産品全体の受注実績額、内需の需要者(業種)別、外需などを把握することで、国内外の受注動向および市場動向を把握することができます。

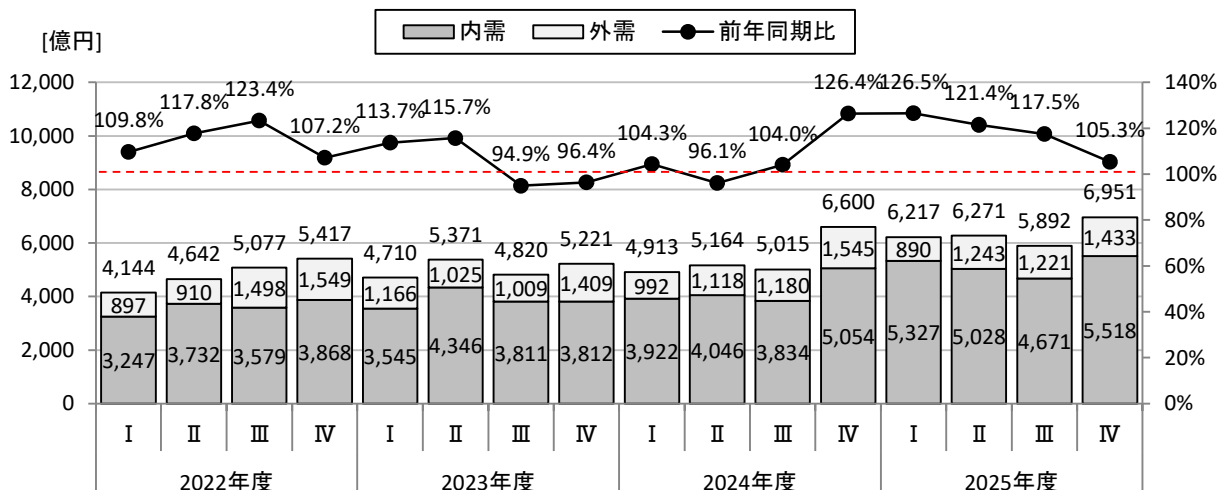
また、重電機器受注生産品の受注実績は、需要者(業種)別の設備投資の状況等を把握できますので、景気動向の先行指標として活用ができます。

##### ■公表の種類

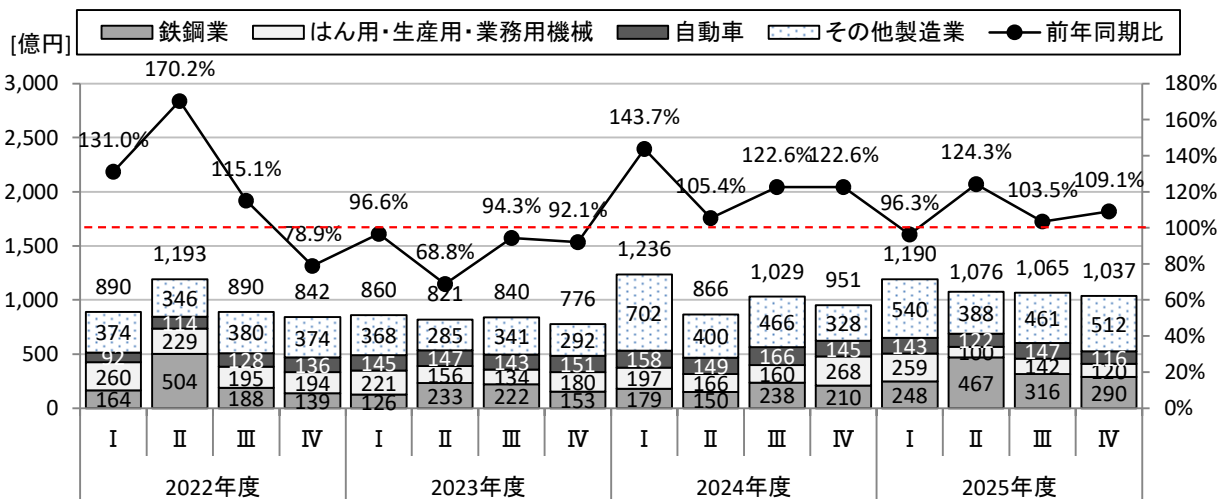
JEMA会員独自で実施している自主統計を四半期毎に公表致します。

## 四半期実績の推移

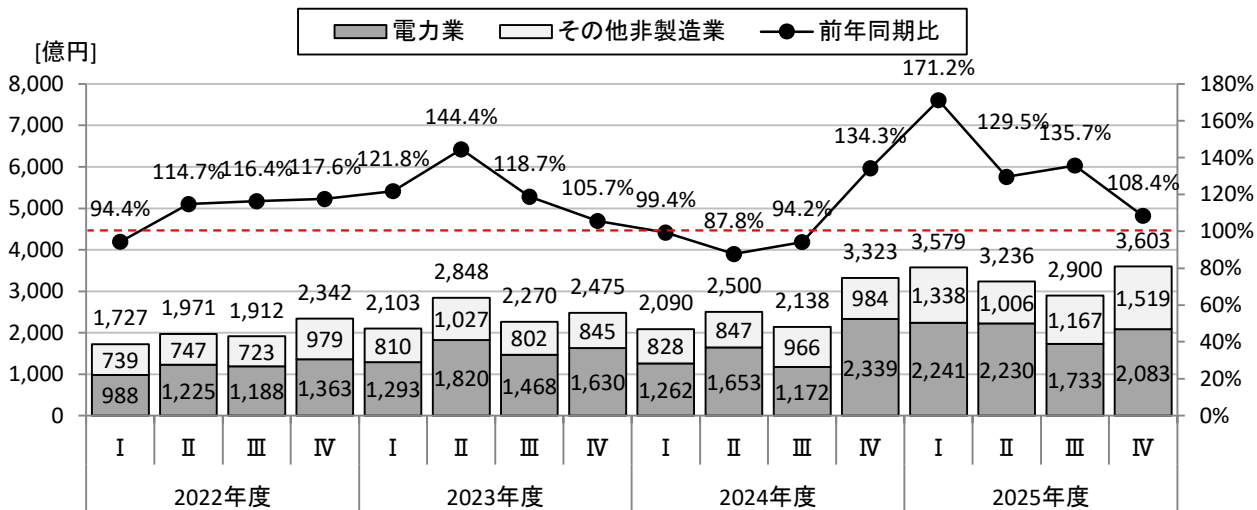
### 重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



### 内需の内訳(製造業)

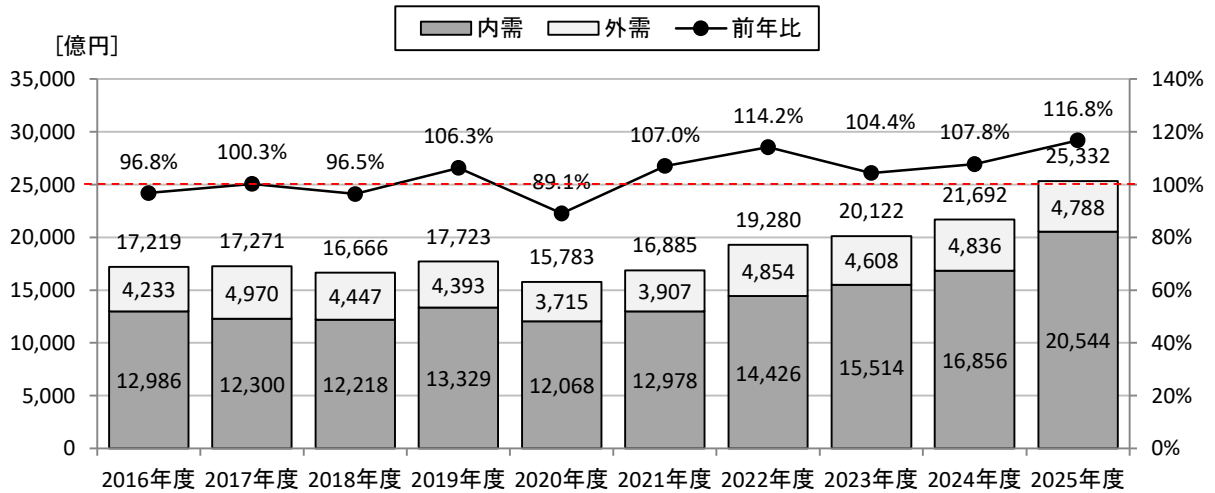


### 内需の内訳(非製造業)

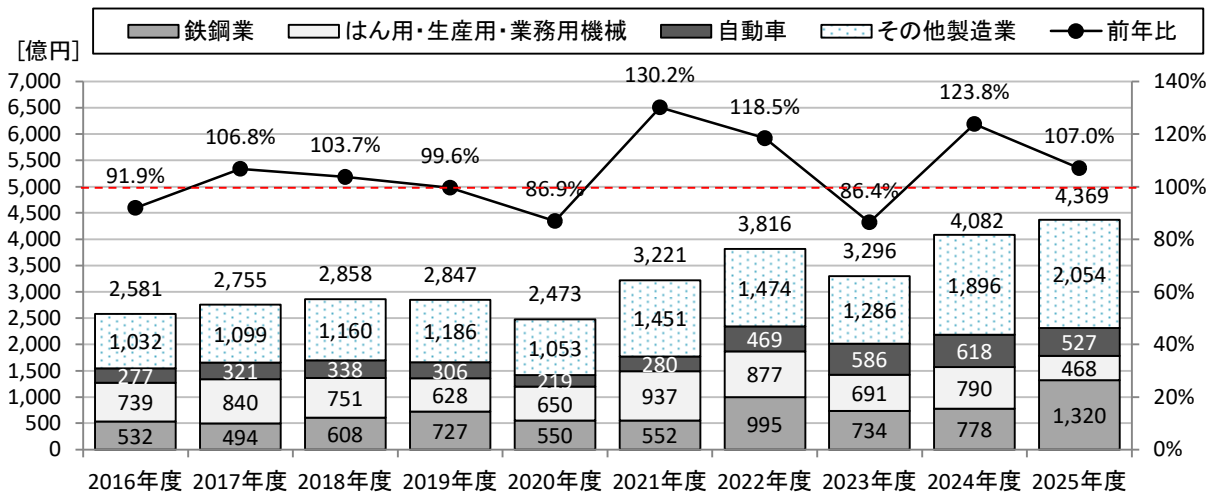


## 年度実績の推移

### 重電機器受注生産品の受注実績(内需+外需)



### 内需の内訳(製造業)



### 内需の内訳(非製造業)

